

平成22年度（第46期）収支決算報告

一 般 会 計

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①基本財産運用収入	802万円
利息収入	672万円
配当金収入	130万円

利息収入は償還期を迎えた債券3本を、債券の表面金利がより高く、債券市場からの購入で差益が出るものに組み替えたことなどから、予算より112万増の運用益を出した。所有する株式の配当金収入は前期と同額の130万円。

②寄付金収入

寄付金収入	3,896万円
-------	---------

予算額5,000万円に対し、1,104万円の減。景気後退の影響で寄付件数が減少したことなどから全般的に収入が低迷し、4,000万円の大台を割り込んだ。

③雑収入

受取利息収入	566万円
--------	-------

貸付事業引当有価証券、道新みらい君奨学金引当資産など運用財産の受取利息収入は、予算額690万円に対して124万円の減。保有している債権のうち、ドル建て、変動金利型の債券1本の利子が金利の低迷と円高の影響を受けて予想を大幅に下回った。

④他会計からの繰入金収入

特別会計からの繰入金収入	735万円
--------------	-------

便宜的に一般会計で処理されている事業運営費と基金運営費は、作業量基準に応じて一般会計と貸付事業会計で折半されており、貸付事業会計の負担分735万円を繰り入れた金額。

2. 事業活動支出

①事業費支出	7,405万円
--------	---------

予算額7,885万円に対して480万円の減。奨学金支給や小規模授産施設などへの助成事業からなる。国が22年度から私立高校生への就学支援制度をスタートさせたことから、みらい君奨学金の支給が前期の576万円から124万円へと大幅に減ったことなどで予算を下回った。

②事業運営費支出	130万円
----------	-------

基金をPRするため道新、道新スポーツを中心とした新聞などへの広告掲載料。予算額150万円に対して20万円の減。

③基金運営費支出	1,341万円
----------	---------

人件費や会議費、印刷製本費などから構成される。当期は事務局員の退職に伴って退職金を支給したことなどから予算を111万円ほど上回った。

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

事務局員の退職で、退職給付引当資産を取り崩した。	121万円
--------------------------	-------

2. 投資活動支出

特定資産取得支出	58万円
----------	------

退職給付引当資産取得支出	58万円
--------------	------

22年度末に必要な退職金額を積み立てた。